



—特別展—

福井の

昭和百年史

【前期展】戦前・戦中・激動の昭和

8月1日(土)―9月6日(日)

9時―17時 (入館は16時30分まで)
会期中の休館日は9月7日(月)―9月11日(金)

いまはまさに、昭和の未来。
戦火と震災を乗り越えた
故郷ふくい軌跡。



福井県立歴史博物館

<https://www.pref.fukui.lg.jp/muse/Cul-Hist/>

【後期展】戦後～令和：躍進の昭和／9月12日(土)―10月12日(月・祝)

観覧料／一般400円、大・高生300円、中・小生200円、
70歳以上200円／20名以上の団体は2割引



※70歳以上の方は、年齢を証明するもの(免許証等)をご提示ください。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方は、手帳を提示いただきますと、
本人およびその介護者1名の観覧料が半額となります。

後援：福井新聞社・NHK福井放送局・FBC・福井テレビ・FM福井・福井ケーブルテレビ・さかいケーブルテレビ・
こしの都ネットワーク・嶺南ケーブルネットワーク・福井鉄道株式会社・えちぜん鉄道株式会社・
株式会社ハビラインふくい・京福バス株式会社

健康週間

律的生活

自十月一日
至十月七日

福井県

戦火と震災を乗り越えた故郷ふくい の軌跡。

現在^{いま}はまさに、昭和の未来。

灰燼から未来へ、福井・昭和100年の道のり。

戦争の苦難、そして空襲と震災で二度焼け野原となった福井。しかし、戦後は絶望から立ち上がり、不屈の精神で目覚ましい経済成長を成し遂げました。前期展では昭和の幕開けから福井震災までを取り上げます。なつかしきモノや福井の生活、そして無くしてしまった情景など、昭和100年という節目の歩みを見つめ直し、未来への灯火を探ります。

【前期展】8月1日(土)―9月6日(日)

戦前～戦中：激動の昭和／時代のうねりに抗う命、戦火に揺れた福井の20年。



防空電球 (当館蔵)



トランク (当館蔵)



飛行機が描かれた扇子 (当館蔵)



レジスター (当館蔵)



扇風機 (当館蔵)



電話機 (当館蔵)

【関連イベント】

- 記念講演 日時／8月8日(土)
(定員160名) 「福井県の昭和と軍事」
講師／木村 美幸氏(岐阜聖徳学園大学 専任講師)
会場／当館1階 講堂

【参加申込】
7月9日(休)より申込受付開始→

- トークイベント 日時／8月22日(土)
(定員160名) 「よみがえる歴史写真～カラー化の効果と可能性～」
登壇者／落合 淳氏(NHK エデュケーショナル) 中川 麻子氏(大妻女子大学 准教授)
西尾 栄之助(当館学芸員)
会場／当館1階 講堂

【参加申込】
7月23日(休)より申込受付開始→

- 展示解説会 8月2日(日)、8月9日(日)、8月16日(日)、8月23日(日)、8月30日(日)、9月6日(日)
(14:00～15:00)

【同時開催】

公募写真展

「あなたが見つけた街かどの昭和」

現在でも街かどで見られる福井の昭和の風景や建物などを募集します。令和8年3月15日(金)―10月12日(月・祝)

開館時間／9時から17時まで(入館は16時30分まで) 会期中の休館日は9月7日(月)―9月11日(金)
観覧料／一般400円、大・高生300円、中・小生200円、70歳以上200円／20名以上の団体は2割引

※70歳以上の方は、年齢を証明するもの(免許証等)をご提示ください。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方は、手帳を提示いただきますと、本人およびその介護者1名の観覧料が半額となります。

●交通のご案内

- ※JR、ハピラインふくい福井駅より
・タクシー 約10分
・京福バス「大和田大学病院線」県立歴史博物館前下車
・京福バス「すまいるバス(北ルート)」宮前町下車
・えちぜん鉄道 田原町駅下車 徒歩15分
・福井鉄道 田原町駅下車 徒歩15分
※車 北陸自動車道 福井北インターから西へ約15分



福井県立歴史博物館

910-0016 福井県福井市大宮2-19-15 TEL.0776-22-4675

<https://www.pref.fukui.lg.jp/muse/Cul-Hist/>



当館HP

